

講習の名称	教育の最新事情		
開催日	平成27年8月3日(月)	定員	80名
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭		
担当講師	B 長島 康雄(経済学部教授) A 崔 玉芬(経済学部専任講師)		
講習の概要	以下の4項目について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 A 子どもの変化についての理解 B 教職についての省察 C 教育政策の動向についての理解 D 学校の内外における連携協力についての理解		
講習計画 (1日目)	09:00~10:30 (90分)	教育法規の視点からみた教職の位置づけ 教育基本法をはじめとする教育法規の視点から教職員のあるべき姿と身につけるべき力量について再確認する。	
	10:30~10:45	休憩	
	10:45~11:45 (60分)	学校組織マネジメントの視点からみた教師の力量形成 教育経営学の視点から、学校組織マネジメント演習を通して、学校組織、自らの果たすべき役割などを再確認し、教職員の力量アップのための取り組みについて省察する。	
	11:45~12:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	12:15~13:00	昼食休憩	
	13:00~14:30 (90分)	子どもの変容と発達 教育心理学の視点から、子どもの変容をどのように理解していくことができるのかを学ぶ。子どもの知的な発達、情緒的な発達を引き出すための要因や課題を取り上げて省察する。	
	14:30~14:45	休憩	
	14:45~15:45 (60分)	いじめ・不登校問題と教育相談 いじめ・不登校などに関する諸問題が生じている現状を押さえるとともに、教育心理学の視点から、教師に求められる教育相談に必要な実践力を身につけるための基礎を学ぶ。	
	15:45~16:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	成績評価の観点	(1)全ての教育活動が、教育法規の下で展開されていることを理解するとともに、多岐にわたる学校業務を組織的に展開していくことが理解できているかを評価の観点とする。 (2)子どもの理解のために心理学的な知見が重要であることが理解しているかどうかを評価の観点とする。	
備考			

講習の名称	教育の最新事情		
開催日	平成27年8月4日(火)	定員	80名
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭		
担当講師	C・D 長島 康雄(経済学部教授)		
講習の概要	以下の4項目について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。 A 子どもの変化についての理解 B 教職についての省察 C 教育政策の動向についての理解 D 学校の内外における連携協力についての理解		
講習計画 (2日目)	09:00~10:30 (90分)	学習指導要領と「生きる力」 学習指導要領の変遷を概観し、現行の学習指導要領の内容の解説を行う。その上で学力低下論争の経緯やPISAなどの国際学力調査結果のとらえ方について検討を加える。そのような検討を行い、「生きる力」についての理解を深める。	
	10:30~10:45	休憩	
	10:45~11:45 (60分)	教育政策の動向と関連づけた道徳教育の省察 道徳教育の歴史的な展開をふまえ、現代社会を生き抜くための基礎を形成する道徳教育のあり方を理解するとともに、今後の展望について検討する。	
	11:45~12:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
	12:15~13:00	昼食休憩	
	13:00~14:30 (90分)	学校における防災教育・安全教育の課題と対応 非常変災時における学校に求められる役割と、児童生徒の安全確保や学校の内外の危機管理上の課題を地域との連携の視点から、事例を通して検討する。	
	14:30~14:45	休憩	
	14:45~15:45 (60分)	保護者・地域社会との連携と学校に寄せられるクレーム対応 学校・家庭・地域社会が連携して対応するために必要となる教職員の姿勢やコミュニケーション能力について再認識する。	
	15:45~16:15 (30分)	試験 筆記試験を行います。	
16:15~16:25	事後評価アンケート		
成績評価の観点	(1)学校をめぐる今日的課題、学習指導要領の変遷、教育関連法規ならびに道徳教育のあり方について理解できたか。 (2)地域の一部としての学校の役割と児童生徒の安全確保など具体的な危機管理の課題と対応について理解できたか。		
備考			